

6月は高校総体・総文で始まりました。応援会場で出会った生徒の皆さんが、真剣な表情で競技に取り組んでいる姿が印象的でした。インターハイにコマを進めた体操部、全国大会の出場権を得た放送部、全国総文に参加する文芸部、夏の大会に向けて鍛錬を続けている野球部など、3年生の活動が続く部活動もありますが、ほとんどの部で新体制での活動が始まっています。

さて、今回は教師の基本である『授業』について考えてみます。

本校では6月から7月にかけての「公開授業週間」で『授業』を公開し、教員の資質向上と授業改善を進めています。本年度は、自分の強みを生かしたり、新たな試みに挑戦する『工夫した授業』を公開しており、すでに12名の先生方の公開授業がありました(図1)。工夫として「グラフシミュレーションアプリを活用した個別最適な学び」「長い文章の読み取りやグラフの捉え方を指導する

[石川県立大聖寺高等学校]

授業改善のための
公開授業シート

教科名	数学	授業者氏名	
授業日	令和5年6月15日(木)	3限	
授業クラス・習熟度別等		授業場所	2階B講義室
科目・単元等	数学探究II・2変数関数の最大値・最小値		
本時のねらい	既習事項を活用して1つの問題を多面的な視点で捉え、解法を考えることができる。		
授業の見せ場	授業の 初め・中盤・終わり		
【本時の授業で工夫した点、見て欲しいところ、意見を伺いたいところなど】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ロイノートスクールを活用して、生徒の考えを共有する場面(協働的な学び) ・ロイノートスクールを活用して、個別にヒントを提示する場面(個別最適化) ・ロイノートスクールを活用して、振り返りを行い、全体で共有する場面(振り返り・自己評価) ・主体的に学習に取り組む態度の評価方法(レポート課題) 			

図1:本校の授業公開シート

(共通テスト対策)」「意見のリアルタイム集計による共有と思考ツールの活用」「思考を共有するツールを適切に使い分ける」などを挙げています。いずれの授業も、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を実践しており、新たなスタイルに挑戦する本校教職員の皆さんの意識の高さをありがたく思います。

現在、社会や個人の価値観が多様化し、正解が一つとは限らない課題の解決が求められています。そのために全ての子供たちの可能性を引き出す「令和の日本型学校教育」の出番となります(図2)。本校の授業が生徒主体の学びの場に、教師の立ち位置が「授ける」から「伴走する」に変わりつつあります。



図2:独立行政法人教職員支援機構 web ページより
令和3年4月公表



図3:授業の様子(今月の一枚)

先日、本校の同窓会理事会において、後輩たちの現在の様子や、学校現場の変化について説明の機会を頂きました。説明の後は予想を超える多くの質問が寄せられ、その際にはご自身が生徒だったころの授業や部活動の思い出が添えられました。

今、私たちが取り組んでいる「令和の日本型学校教育」も、何十年か後に「あのときの授業は…」のように語られる日が来ます。信念を持って変革に取り組んでいきたいと思いました。